

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況

平成 16 年 2 月 20 日

上場会社名 オンキヨー株式会社 (URL <http://www.onkyo.com/jp/>) 登録銘柄
 コード番号 6729 本社所在都道府県 大阪府
 代表者 取締役社長 氏名 大脇 直人
 問合せ先責任者 取締役執行役員管理本部副本部長 氏名 小関 雅富 TEL (072) 831-8001

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

(1) 連結売上高 (またはこれに相当する事項)

	売上高	前年同期比
	百万円	%
平成16年3月期第3四半期	31,925	-
平成15年3月期第3四半期	-	-
(参考)平成15年3月期通期	50,909	-

(2) 単独売上高 (またはこれに相当する事項)

	売上高	前年同期比
	百万円	%
平成16年3月期第3四半期	31,711	-
平成15年3月期第3四半期	-	-
(参考)平成15年3月期通期	41,348	-

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。なお、売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるコンシューマーエレクトロニクス事業の売上高は、引き続き米国市場が好調でありましたが、日本市場および欧州市場は厳しい状況となりました。

また、インダストリアルコンポーネンツ事業の売上高は、2002年度に操業を開始した ONKYO INDUSTRIAL COMPONENTS, INC. (米国/シカゴ)および上海恩橋電子有限公司(中国/上海)の販売が軌道に乗り始めましたが、テレビメーカーの中国生産シフトにより、ONKYO ELECTRIC (MALAYSIA) SDN.BHD. のテレビ用スピーカーが、厳しい状況となりました。

(3) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象 該当事項はありません。

3. 平成 16 年 3 月期の業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通期	44,500	2,200	1,000	99	06

(2) 単独業績予想

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通期	38,000	1,220	580	57	46

[業績予想について]

当第3四半期の実績および現在の市場環境から、当連結会計期間および当事業年度(単独)は、以下のように見通しております。

米国市場が概ね堅調であるのに対して、日本・欧州市場の購買力が、依然、回復しないことが予想され、連結売上高は445億円程度、単独売上高は380億円程度を予想しております。

一方、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の圧縮により、連結経常利益は22億円程度、単独経常利益は12億2000万円程度を予想しております。

また、ヨーロッパ市場における代理店契約の見直しによる特別損失(契約解除損失)を5億円ほど見込んでおりますので、連結当期純利益は10億円程度、単独当期純利益は5億8000万円程度を予想しております。なお当該特別損失はONKYO EUROPE ELECTRONICS GMBHで発生したものであり、単独決算に影響はありません。

[業績等の予想に関する注意事項]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。